



正 月

石川啄木の歌に、「何事か今年はいいことある如し、元日の朝晴れて風なし」というのがある。平成二年の幕開けは、この歌のように風もなくよく晴れて、初日の出も拝むことができ、前途を祝福するかのようであった。

初夢を見た方も多かろうが、昔から縁起のよい初夢として、「一富士、二鷹、三茄子」と言われているが、現代では、一はともかく、二、三は宝くじに当たった夢とかマイホームを持った夢などが縁起のよい夢であろう。

初詣も今年は去年より多く、県内では鹿島神宮が最も多く三十万三千人、二位が笠間稲荷神社で二十九万一千人、三位が大洗磯前神社の十五万五千人で、これがベストスリーだった。

「一年の計は元旦にあり」という格言があり、大勢の人が、日記をつけるとか、家計簿をつけるとか、禁酒をするとか、禁煙をするとか等々、元旦に決意するものであるが、三日坊主にならないように実行したいものである。

昨年、平成元年は正に激動の一年であったが、今年午年も、著名な評論家等の予測によれば、波乱の年であるという。年頭に当たって、世界の平和と繁栄を祈りたい。

1月のおもな行事

- 11・16・17・18日 農林業センサス事務説明会(内原町, 潮来町, 常陸太田市, 東海村)
- 23～24日 統計実務講習会(東京都)
- 25日 家計調査員合同指導会(水戸市)
- 29日 関東甲信静ブロック統計主管課庶務主任者会議(千葉県)
- 30日 社会人口統計体系特別講習会(東京都)
- 30日 全国消費実態調査地区別報告会(埼玉県)